

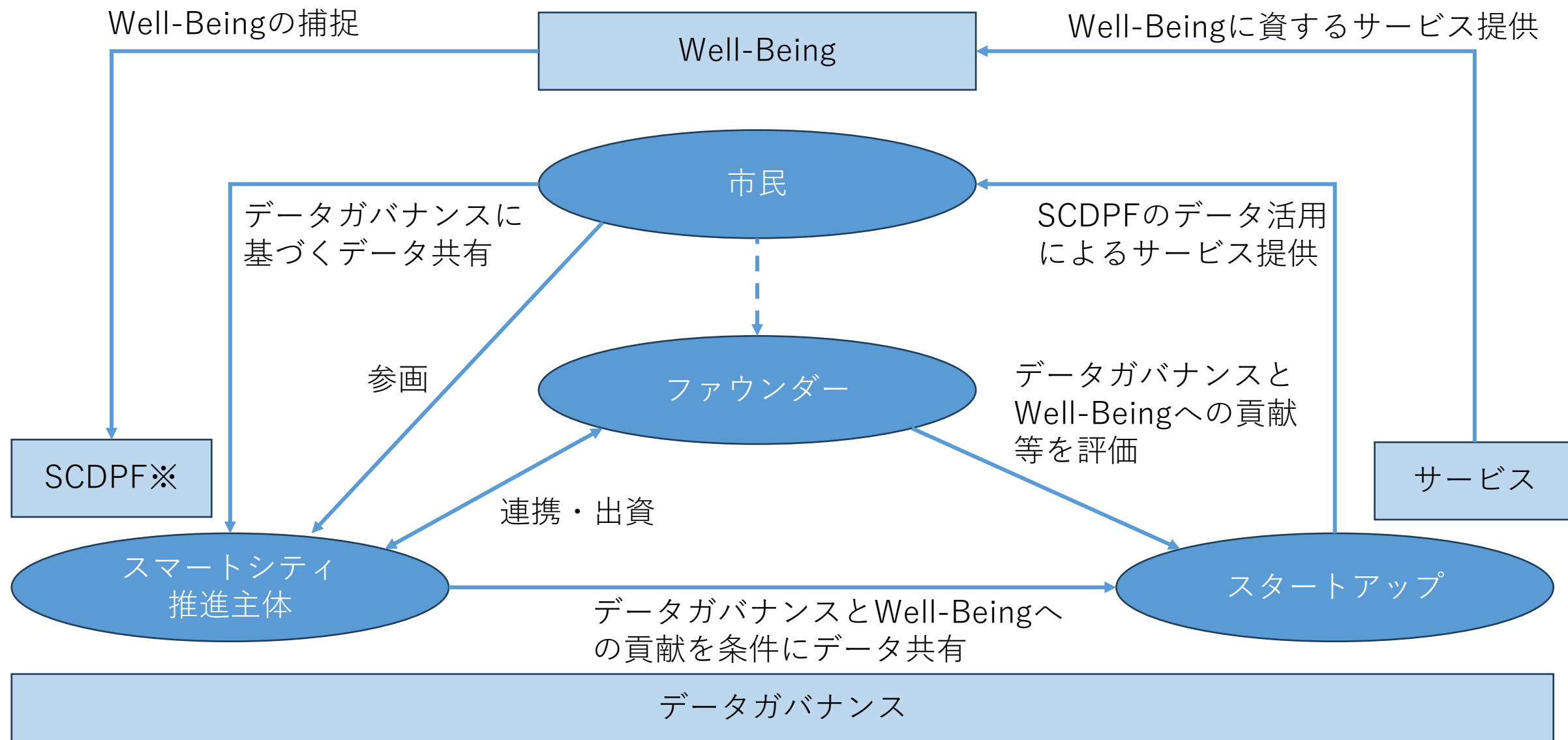


2025年2月19日開催 日立東大ラボ・産学協創フォーラム
「Well-beingとスマートシティ」

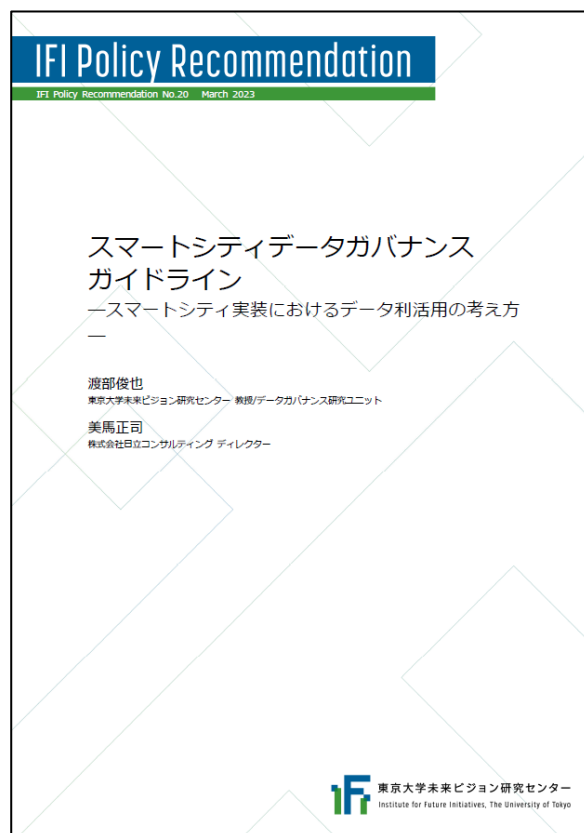
スマートシティのWell-Beingとデータガバナンス

美馬正司

日立コンサルティング
パブリックデザインディビジョン ディレクター



- スマートシティにおいてICTやデータ活用を先行させるのではなく、「人間中心」の本来の価値を創出できるよう、スマートシティの推進におけるデータガバナンスの考え方をとりまとめ、**2023年3月にリリース**。
- 東京大学未来ビジョン研究センター・データガバナンス研究ユニットが参加する、日立東大ラボのハビタットイノベーションプロジェクトの一環として策定。
- 策定にあたっては、データガバナンス研究ユニットの有識者だけでなく、三井不動産等、スマートシティに関わる企業、中央省庁、アカデミア、OECD等、外部の有識者との議論を実施。



目次	
1. 本ガイドラインの趣旨	1
1.1. 背景と目的	1
1.2. 想定読者	1
2. スマートシティの考え方	2
2.1. スマートシティとは	2
2.2. スマートシティの捉え方	3
2.3. スマートシティの推進組織	3
3. データガバナンスの考え方	5
3.1. サービスが最初	5
3.2. データを起点とした捉え方	7
3.3. アジャイル・ガバナンス	8
3.4. 人間中心のガバナンス	9
3.5. トラストの考え方	10
3.6. DFFT	12
4. データガバナンスのプロセス	13
4.1. スマートシティのプロセスとデータガバナンス	13
4.2. データガバナンスのプロセス	14
4.3. ステークホルダーの巻き込み	15
5. データガバナンスプロセスの解説	17
5.1. 事業概要の整理	17
5.2. 関係法令等の整理	19
5.3. リスク分析	21
5.4. ルールの設計	27
5.5. 運用・評価	31

出典 : https://ifi.u-tokyo.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/03/policy_recommendation_dg_20230324j.pdf

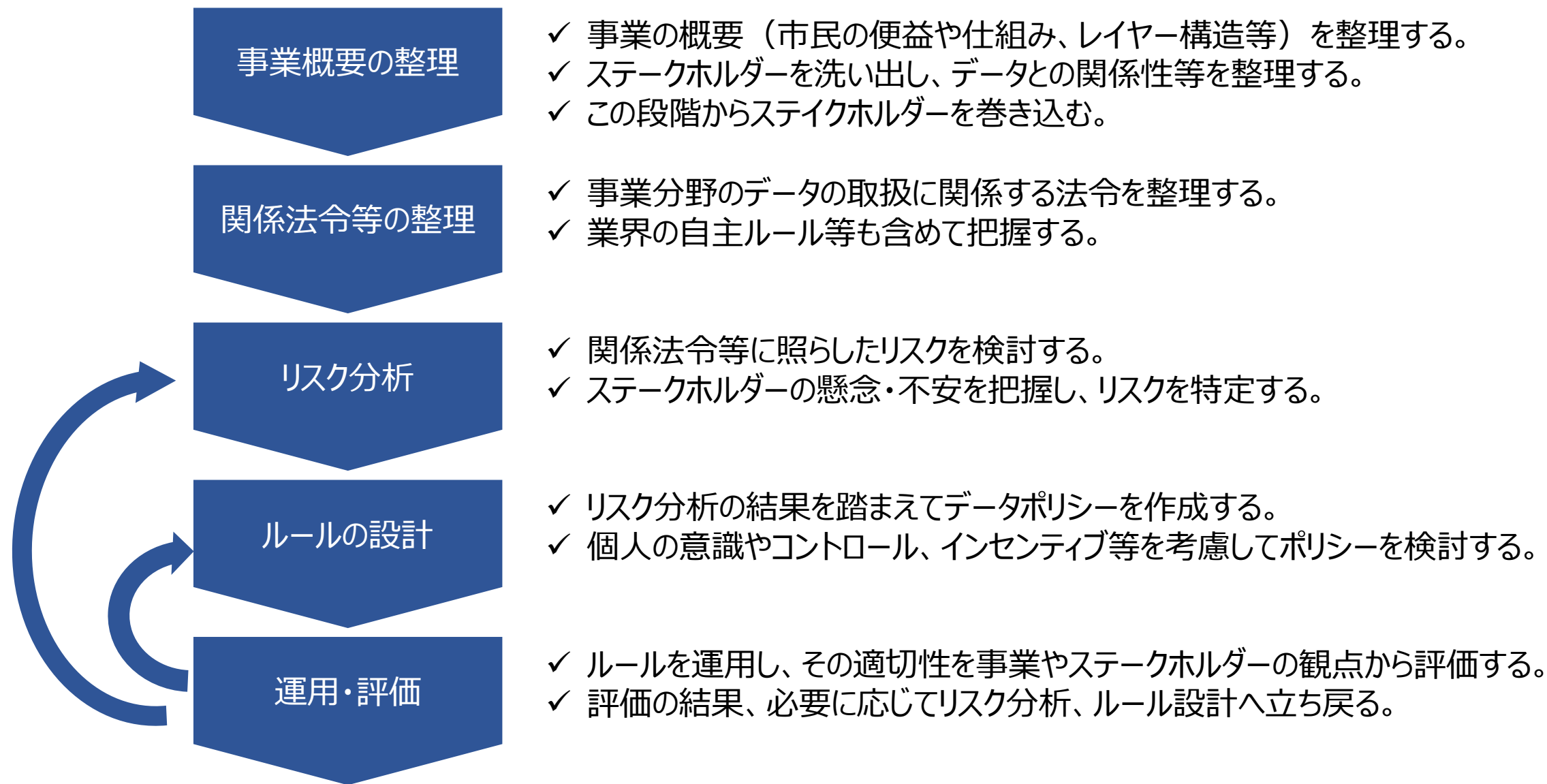
- スマートシティの取組は日々変化しており、生成AI等、関係する技術も急速に進展。
- データガバナンス研究ユニットにおける議論も深化。
- リビングドキュメントとして、2024年7月に、以下の論点を踏まえ改定。
 - ✓ Well-beingについて考え方について追記
 - ✓ データ品質の考え方について追記
 - ✓ 生成AIを含むAIのリスク等について追記
 - ✓ OECD Smart City Data Governance等を踏まえた修正
 - ✓ 参照資料のアップデート

スマートシティデータガバナンス
ガイドライン改定版

2024年7月25日

東京大学未来ビジョン研究センター
データガバナンス研究ユニット

渡部俊也（未来ビジョン研究センター 教授）
美馬正司（株式会社日立コンサルティング ディレクター）



- 高輪ゲートウェイのスマートシティにおいても参照、活用。

